学校番号	２１０２

令和２年度　芸術科

教科	美術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰを履修してからの学習になります。
・授業では、課題に対して自ら考え、自主制作活動を行います。
・「課題を理解する→自らの主題を設定する→表現の構想を練る→制作する→自らの制作を振り返って新たな可能性を考える」といった一連の活動を行います。
・課題は全て提出してもらいます。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	色と形とメッセージ	【デザイン】 ・試作 モダンテクニックを使い5枚試作を作る。 文字のステンシル型を作る。 ・制作 試作の中から各自技法を選び、パネルに制作する。	○ ○	 ○	○ ○		a:色と形による造形に関心を持ち、構想を練ったり表現したりしようとしている。 b:偶然の造形から、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:ポスターカラーの特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:	制作の様子 制作途中の作品 作品
	お面をつくる	【絵画・彫刻】 ・アイデアスケッチ 各自テーマを決める。 テーマに沿ってデザインを各自で考える。 ・制作 アルミホイル、和紙、粘土、ポスターカラー、その他必要な素材を用いて制作を行う。	○ ○	○ ○	○ ○		a:立体作品のよさや美しさに関心を持ち、造形の諸要素を踏まえ、構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさなどから主題を設定し、構想を練っている。 c:アルミホイル、和紙、粘土、ポスターカラー、用具の特性を生かし、表現を工夫して表現している。 d:	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	時代の言葉を視覚化する	【デザイン】 ・素材集め、素材制作 新聞や雑誌から言葉を5つ程度切り取る。 切り取った言葉のイメージを画用紙に、色と形で表現する。 ・アイデアスケッチ 素材を組み合わせてテーマを決める。 ・制作 パネルに素材を貼り、加筆等工夫し、仕上げる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		a:生活や社会の中にある言葉と美術やデザインとの関係に関心を持ち、主体的に構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:偶然見つけた言葉から主題を生成し、表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

	楽しい時間	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 各自主題を考える。 ・制作 水彩絵の具や油絵の具、クレヨン、その他必要な素材等を用いて制作を行う。 ・相互作品鑑賞	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、構想を練ったり、表現しようとしている。 b:自分の生活体験の中から主題を生成し、表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて、表現の構想を練っている。 c:選択した絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b: 発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。